



池一小だより

9月号 令和 4年 9月 1日

教 育 目 標

- 生かせ学び
- ・健康増進
- ・一途な夢
- ・地球人の優しさ

地域の願いを大切に

校 長

夏の夜、子供たちが埋めた木の実が不思議な力で見る見る大木へ……。これは、夏休みにも再放送された宮崎駿監督の映画「となりのトトロ」の中で、私が好きな場面の一つです。主人公の女の子サツキは6年生という設定だそうです。本校の6年生も、この度、豊島区を緑豊かな環境都市として再生する「グリーンとしま」のプロジェクトに参加することになりました。学校の一角で植樹を行い、「いのちの森」を作るお手伝いをするのです。自分達と共に樹木が生長し、地域を守る森となる……。SDGsに取り組む児童にとって、きっと心に残る取組となることでしょう。

これとは別に、児童が植物を育て、お世話になっている施設に届けたり種をプレゼントしたりする「笑顔の花プロジェクト」もスタートします。これは、昨年 PTA の方が考えてくださった案の中から選んだものです。自分以外の人を笑顔にするために心を込めて花を育てるこの活動は、「笑顔の花プロジェクト」と名付けました。

そして、この活動をサポートし、学校の緑やビオトープの維持管理にも協力していただくのが「森の中の学校ネットワーククラブ」です。植物の知識が豊富な方に協力いただけないものかと探し続けていたある日、公園の花壇に「池八パルテールクラブ」の文字を見付けました。

早速、上池袋池八町会長様にご相談したところ、近隣にお住まいの山中様をご紹介くださることになりました。お二人は多忙なスケジュールの合間を縫って話を聞いてくださり、手探り状態だった活動への協力を快諾してくださいました。

8月24日、めでたく「森の中の学校ネットワーククラブ」を立ち上げることができたことを、皆様にお知らせいたします。

平成29年に作成された「池袋第一小学校の建替えに関する提言書」に目を通すと、新校舎には「地域に愛され地域と共に歩む学校であってほしい」という願いとともに、「児童を第一に考える学校であってほしい」という願いもこめられていることが分かります。そして、その願いに応えるかのように、令和5年度より、新しく特別支援学級(学級名は未定)も、設置されることになりました。

ご存じのように、現在、本校には、児童が自己の課題を克服し安心して学べるように、特別支援教室「たんぽぽ教室」が設置されています。次年度は、さらにそれに加えて、「自閉症・情緒障害特別支援学級」も設置されるということで、大変嬉しく思います。これは、南池袋小学校のけやき学級に続く、豊島区2番目の設置です。1学級(定員8名)で、開級時期等は未定です。詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

新校舎でもすべての児童が「安全・安心・あふれる笑顔」で生活できるよう、職員が心一つに取り組んでまいります。今学期も、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



「森の中の学校プロジェクト」始動！

教務主幹

待ちに待った新校舎です！ 新校舎のテーマ「森の中の学校」にぴったりのたくさんの緑に囲まれた素敵な校舎が完成しました。10年以上前から豊島区が取り組んできた「グリーンとしま再生プロジェクト」の取り組みの中で、「みどりのネットワークの中の学校」の新しい拠点として、この新校舎は建てられました。PTAや地域の皆様と一体となって作り上げていく「森の中の学校」。地域の拠点となるこの新校舎で、どのような取組ができるかをPTAや地域の皆様と共に考えながら、子供たちの豊かな感性を育む学習につなげていきたいと考えています。

そのため、本校では新しく「森の中の学校プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトには、学校・PTA・地域が連携して取り組んでいく「森の中の学校ネットワーククラブ」も位置付けられています。ネットワーククラブでは、参加して下さる方々と共に、学校の緑の維持・管理や、児童が学習活動で行う植栽・栽培活動等のお手伝いもお願いしていく予定です。

また、森の中の学校プロジェクトの一環である「笑顔の花プロジェクト」では、一人一鉢育てる活動を学校の柱の取り組みとしていきます。子供たちが自分の花を育てていく中で、困ったときには先生や地域の方々等の知恵を借りながら責任をもって命を育む経験をしてほしいと考えています。そうして育てた大切な花を地域の皆様に見ていただく機会も作ることで、学校がたくさんの方々にとっての憩いの場になっていったら嬉しいです。

学校がもっともっと開かれた場となり、大人も子供も、一人一人がたくさんの人や植物・生き物、様々な命と関わり繋がりが合いながら、豊かな感性と人間関係を育てていけるような、そのようなプロジェクトにできれば素敵だなと思っています。



引っ越しました。～仮校舎から新校舎へ♪～

引越主任

8月18日から23日にかけて、仮校舎から新校舎への荷物の引越しをしました。7月28・29日には、引越業者の方に来ていただいて梱包をしました。教職員も自分の教室や教材室などの荷物を段ボールに詰めました。一クラス20から40くらいの段ボールになりました。図書室の本は、すごい量になりました。旧校舎から仮校舎への引越しの時は、スチールロッカーなど大きなものがありましたが、今回は、新校舎に新品のものが待っていました。ただ、学校の工事の進行状況の関係で、中の様子が分からないこともあって、教職員たちは準備が大変でした。次々運び込まれた荷物を開いて机の中や棚に入れました。子供たちが上手に使えるよう考えています。学校も新しいですが、机も椅子も新品です。大切に使用していきたいですね。

